

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和元年5月31日 報告

担当課

産業振興課

補助金等の名称	佐倉商工会議所事業補助金
---------	--------------

予算科目	一般会計	款	6	項	1	目	2
予算事業名	商業・工業団体育成事業						
実施計画の位置づけ	企業の連携による地域経済の振興を図ります						

補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・ <u>国県補助なし</u>						千円
交付先	佐倉商工会議所						
支出根拠規定	佐倉商工会議所事業補助金交付要綱						

補助の目的	商工業活性化を行う商工業団体の事業支援を行うことにより、地域経済の発展及び市内商工業の振興を図るため。
補助の効果	地域経済の発展及び市内商工業の振興
補助対象事業の具体的内容	<p>【一般事業費】①総合振興事業、②商工業振興事業、③中小企業対策事業、④商工技術振興事業、⑤調査広報事業、⑥経営改善普及事業</p> <p>【一般管理費】①職員の設置費(一般会計職員給与、相談所特別会計職員給与)、②福利厚生費、③事務費、④家屋費</p>
対象経費及び補助率	補助対象事業に係る経費の1/2以内 (佐倉商工会議所事業補助金交付要綱別表1による)
補助金額の根拠	対象と金額は佐倉商工会議所事業補助金交付要綱別表1又は様式第2号の区分に応じ、事業予算額または補助対象基準額のいずれか低い額の1/2以内で、予算の範囲内において市長が定める額としている。
備考	
1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由	佐倉商工会議所は、法で定められた市内唯一の公的経済産業団体であり、市の商工業振興施策の一部を担い、その存在は必要不可欠となっているため。
その他	
補助期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	産業振興課	
補助金等の名称		佐倉商工会議所事業補助金		
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	32,500	商工業振興にかかる支援事業数 6事業	32,500	6事業 (①総合振興事業、②商工業振興事業、③中小企業対策事業、④商工技術振興事業、⑤調査広報事業、⑥経営改善普及事業)
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	予定された事業を実施し、市内商工業の振興、地域振興に寄与することができた。事業を精査したうえで、今後も支援を継続する。			
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	32,500	商工業振興にかかる支援事業数 6事業	32,500	6事業 (①総合振興事業、②商工業振興事業、③中小企業対策事業、④商工技術振興事業、⑤調査広報事業、⑥経営改善普及事業)
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	予定された事業を実施し、市内商工業の振興、地域振興に寄与することができた。事業を精査したうえで、今後も支援を継続する。			
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	32,500	商工業振興にかかる支援事業数 6事業	32,071	6事業 (①総合振興事業、②商工業振興事業、③中小企業対策事業、④商工技術振興事業、⑤調査広報事業、⑥経営改善普及事業)
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	予定された事業を実施し、市内商工業の振興、地域振興に寄与することができた。事業を精査したうえで、今後も支援を継続する。			
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	32,500	商工業振興にかかる支援事業数 6事業	31,935	5事業(①総合振興事業、②商工業振興事業、③中小企業対策事業、⑤調査広報事業、⑥経営改善普及事業)
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	④商工技術振興事業について、監査の指摘を受け検討の結果、補助対象外としたため、実施事業数は減少したが、今年度も商工業振興・地域振興を推進することができた。支援事業の枠組みを再検討の上、今後も支援を行う。			
平成31年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	32,500	商工業振興にかかる支援事業数 6事業	0	
	成果達成状況の分析と今後の方策			
計画期間終了後の最終的な目標値	平成31年度までに各年度6事業の支援を行う			
計画期間終了後の最終的な成果値				